

KB-U × KW-101B [JIS Z 3183 S622-H4該当]

(フラックス: JIS Z 3352 SACG1) (ワイヤ: JIS Z 3351 YS-NM1)

用途

550MPa級高張力鋼、570MPa級高張力および590MPa級高張力鋼を使用した鉄骨、橋梁などのすみ肉溶接材料。

特性

1. 開先加工なしでウェブ25mmまでの完全溶込み1パスすみ肉溶接が可能です。
2. 開先加工なしでウェブ19～50mmの部分溶込み1パスすみ肉溶接が可能です。
3. 開先加工が省略でき、コスト削減が図れます。
4. 低炭素ワイヤとの組合せで耐割れ性が良好です。

使用上の要点

1. フラックスの乾燥は、必要に応じて200～300℃で約60分行って下さい。
2. 開先面に水、油、錆、ペイントなどがありますとブローホール、ピット等の欠陥が発生する原因となりますので、できるだけ除去して下さい。
3. フラックスは必要以上に散布しますとビード外観を損なったり、スラグ剥離性が劣化しますので注意して下さい。
4. フラックスを連続使用しますと、粒度が細かくなり、ビード形状を損ねる等、作業性が変化しますので適宜、新しいフラックスを補給して下さい。

溶接金属の機械的性質の一例*1

供試鋼板および溶接法			引張試験				シャルピー衝撃試験		
鋼板	板厚 (mm)	溶接法	採取位置	降伏点 (MPa)	引張強さ (MPa)	伸び (%)	採取位置	個々の値 (J)	平均値 (J)
SA440B	19	1パス	*2	572	668	-	*2	86, 82, 84	84
SA440B	28	1パス	*2	571	662	-	*2	82, 88, 82	84

*1: 化学成分、機械的性質は溶接条件、積層法などにより変化しますので実際の施工条件でご確認下さい。

*2: 引張試験およびシャルピー衝撃試験要領は、全国ビルトH工業会の”ビルトHサブマージアーク溶接 (50度開先) 施工試験要領書”に準拠。

板厚 (mm)	ワイヤ径 (mm φ)	開先形状 (mm)	電極	電流 (A)	電圧 (V)	溶接速度 (cm/min)	溶接入熱 (kJ/cm)
19	先行極 4.8		先行極	980	32	61	59
	後行極 4.8		後行極	780	37		
28	先行極 4.8		先行極	990	32	47	82
	後行極 4.8		後行極	880	37		



株式会社 JKW

販売元: 株式会社 JKW 供給元: 三菱神戸製鋼所